

## 施策名：安心で質の高い医療サービスの充実

事業名	担当課・室名	ページ
医師確保緊急対策事業	医療政策課	2 / 19
地域医療再生施設設備整備事業	医療政策課	3 / 19
看護職員就業・定着促進事業	医療政策課	4 / 19
看護職員充足対策事業	医療政策課	5 / 19
看護職員資質向上推進事業	医療政策課	6 / 19
在宅医療を支える看護職員確保定着事業	医療政策課	7 / 19
おおいた医学生修学サポート事業	医療政策課	8 / 19
おおいた地域医療支援システム構築事業	医療政策課	9 / 19
地域医療教育・研修推進事業	医療政策課	10 / 19
へき地医療対策事業	医療政策課	11 / 19
医療機関医師等支援事業	医療政策課	12 / 19
在宅医療連携拠点体制整備事業	医療政策課	13 / 19
高度救命救急医療体制整備事業	医療政策課	14 / 19
広域救急搬送体制整備事業	医療政策課	15 / 19
ドクターヘリ運航事業	医療政策課	16 / 19
県立病院対策事業(県立病院)	医療政策課	17 / 19
障がい児者歯科診療体制整備事業	健康対策課	18 / 19
精神科救急医療システム整備事業	障害福祉課	19 / 19

事業名	医師確保緊急対策事業		事業期間	平成 19 年度～平成 年度		政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
				施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実		
総合評価	<b>C</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	医療政策課		評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	地域の中核的な病院の医師不足に対処するため、医師の県内定着が求められている。	事業の目的	医師の県内定着を促進する。
-------	--	-------	---------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
後期研修医に対する研修資金の貸与	特定診療科及び地域の指定病院で後期研修を行う医師への修学資金貸与（貸与中23名）	・後期研修医の募集や県内定着に小児科、産婦人科の両医会、学会が協力	総コスト	36,857	42,907	70,655
地域中核病院等医師研修支援	地域中核病院等に勤務する医師の研修費用助成（実施病院3病院派遣医師8名）	・医師の資質向上に対し積極的に取り組む病院の活動を支援	事業費	34,857	40,907	68,655
			(うち一般財源)	22,857	22,607	22,755
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数（人）	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 （年度）	評価	今後の課題	
								研修資金貸与中医師数（人）	目標値
	実績値	19	23						
	達成率	63.3%	82.1%						
医師の研修派遣人数（人）	目標値	8	8	8					
	実績値	6	8						
	達成率	75.0%	100.0%						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 （年度）	評価	事業の成果	
								研修資金貸与修了者の県内定着人数（人）	目標値
	実績値	29	37						
	達成率	90.6%	86.0%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・地域における医師の確保、偏在解消のため引き続き事業を実施				

事業名	地域医療再生施設設備整備事業		事業期間	平成 22 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>D</b>	<b>例外的に継続</b>	事業実施課（室）名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	地域における医療提供体制の確保・充実を図るため、地域の中核的な役割を担う医療機関やこれらを支援する高次医療機関の施設設備整備が課題となっている。	事業の目的	医療機関の安定的・持続的な医療提供体制を整備する。
-------	--	-------	---------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
地域医療連携ネットワーク体制整備事業	在宅医療に先進的に取り組んでいる臼杵市医師会の地域医療連携ネットワークシステム構築等に対し助成	・実施主体に対して実施要綱及び実施要領に沿った申請事務の管理を徹底	総コスト	846,317	181,745	42,956
認知症医療体制強化事業	大分大学医学部附属病院のアミロイドPET検査設備の拡充に対し助成 (アミロイドPET検査設備：認知症患者の脳内に蓄積される物質を画像診断する設備)		事業費	843,317	178,745	39,956
			(うち一般財源)			
			人件費	3,000	3,000	3,000
			職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	臼杵市医師会の地域医療連携ネットワークの新規接続施設数(施設)	目標値	21	23	19		<b>a</b>	引き続き連携施設の確保を推進
	実績値	19	23					
	達成率	90.5%	100.0%					
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
		目標値						
	実績値							
	達成率							

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	継続・見直し	<b>例外的に継続</b>	廃止
--------	----	--------	---------------	----

今後の事業方針

・地域医療再生計画に基づき、地域医療提供体制の確保・充実を図るため引き続き事業を実施

事業名	看護職員就業・定着促進事業		事業期間	平成 24 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	潜在看護職員は、職場の人間関係や看護技術に不安があるため再就職につながらず、看護職員が確保できない。また、新人看護職員は、医療現場で必要とされる臨床実践能力と看護教育で習得する看護実践能力の間にかい離が生じており、早期離職につながっている。	事業の目的	潜在看護職員の就業促進及び新人看護職員研修による離職防止対策により、看護職員の定着を図る。
-------	--	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
潜在看護師の就業促進	一日職場体験の実施、ブランク分野別研修の実施 (11回) 委託先：大分県看護協会	・業務の全部を県看護協会へ委託 (潜在看護師の就業促進)	総コスト	5,381	19,231	30,965
新人看護職員の離職防止	新人看護職員の研修費用の助成 (32施設 337名) 実地指導者研修の実施 (2回) 委託先：大分県看護協会	・業務の一部を県看護協会へ委託 (新人看護職員の離職防止)	事業費	3,381	17,231	28,965
			(うち一般財源)			
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数 (人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								新人看護職員研修受講者数 (人)	目標値
	実績値	372	337						
	達成率	106.3%	96.3%						
実地指導者研修参加者数 (人)	目標値	80	80						
	実績値	62	142						
	達成率	77.5%	177.5%						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								新人看護職員定着率 (%)	目標値
	実績値	94.9	95.0						
	達成率	98.9%	99.0%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>潜在看護師の就業促進に関しては、潜在看護職員の復職につながらないことから廃止</li> <li>新人看護職員の離職防止に関しては、研修への参加人数も増加しており、事業の内容を見直しながら段階を迫った研修を計画的に実施</li> </ul>				

事業名	看護職員充足対策事業		事業期間	昭和 4 9 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>C</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	県内において十分な看護職員を継続的に確保するために就業看護職員の離職防止や未就業看護職員の就業が課題となっている。	事業の目的	資質の高い看護職員の確保や養成力の強化、就業看護職員の離職防止及び未就業看護職員の再就業を促進することにより、看護職員の充足を図る。
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	2 5 年度	2 6 年度	2 7 (予算)
働き続けられる職場環境運営費支援	病院内保育所の運営費補助 (1施設)		総コスト	156,262	173,294	194,370
看護師等養成力の充実強化	看護師等養成所の運営費補助 (在籍者967名)		事業費	153,262	170,294	191,370
県内就職の促進	看護師等修学資金の貸付 (看護師32名・准看護師3名)		(うち一般財源)	87,643	25,448	33,123
再就業支援対策	再就業のための就職相談、看護技術専門分野別研修を実施	・業務の全部を県看護協会へ委託	人件費	3,000	3,000	3,000
訪問看護師の養成	e ラーニングを併用した訪問看護師養成研修を実施(30名)	・業務の全部を県看護協会へ委託	職員数 (人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
看護師等修学資金の貸付学生数 (人)	目標値		43	43	43		<b>C</b>	・病院内保育所の新設等の施設整備支援が不十分 ・看護師等養成所において、質の高い専任教員が不足し、養成力が低下 ・地域で活動している看護職員が、学び直しや看護実践力レベルアップを行うことに対する支援が不十分 ・再就業支援研修会の受講者が定員割れの状態	
	実績値		42	35					
	達成率		97.7%	81.4%					
再就業支援研修会の受講者数 (人)	目標値		30	30	30				
	実績値		21	22					
	達成率		70.0%	73.3%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
看護師等養成所の新卒就業者の県内定着率 (%)	目標値		64.4	64.4	64.4		<b>a</b>	看護師等養成所の円滑な運営や看護職員の勤務環境の改善に対する支援を実施することにより、看護職員の確保や定着の促進を図ることができた。	
	実績値		68.1	68.4					
	達成率		105.7%	106.2%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・病院内保育所の新設等の施設整備支援を拡充
- ・専任教員養成講習会の実施
- ・地域医療介護総合確保基金を活用し、社会人看護職員が看護科学大学大学院へ進学するときの修学資金支援を実施
- ・再就業支援研修会への受講者数及び就業者数を増やすため、研修内容の見直しを実施

事業名	看護職員資質向上推進事業		事業期間	平成 12 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	新卒時の能力と医療現場で求められる能力とのギャップが新卒看護職員の高い離職要因となっているため、基礎教育の質を高めることが課題となっている。患者が継続した在宅での療養生活を可能にするための、質の高い看護サービスを提供できる訪問看護師が不足している。	事業の目的	県民に対し、質の高い看護サービスを提供する。
-------	--	-------	------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
専任教員継続研修会事業	質の高い看護教員の育成のための継続研修会の開催 (6日)	・大分県看護協会との共催事業として実施	総コスト	6,159	9,376	15,051
実習指導者講習会	学生実習受入施設における実習指導者の育成講習会の開催 (42日)	・大分県看護協会に委託して実施	事業費	4,159	8,793	13,051
訪問看護推進事業	訪問看護推進協議会 (3回) 訪問看護基礎研修 (7日間) 在宅ターミナルケア研修 (8日間)	・大分県看護協会に委託して実施	(うち一般財源)	300	117	104
専門・認定看護師養成事業	医療機関に対し認定看護師等を養成する経費を補助		人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数 (人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								今後の課題	
	実習指導者講習会受講者数 (人)	目標値	48	48	48		<b>a</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員と実習施設の指導者との連携が不十分</li> <li>・在宅医療に従事する看護職員の確保・定着、質の向上が不十分</li> </ul>	
		実績値	49	49					
		達成率	102.1%	102.1%					
	専門・認定看護師養成事業受講者数 (人)	目標値	11	11	11				
		実績値	11	11					
		達成率	100.0%	100.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								事業の成果	
	県内の専門・認定看護師数 (人)	目標値	170	170	170		<b>a</b>	看護師等学校養成所の専任教員や実習施設の指導者の資質の向上を図ることにより、看護学生の教育・指導体制の充実を図ることができた。また、在宅療養を望む県民に質の高い看護サービスを提供するため、幅広い知識と技術を持つ訪問看護師の育成を図ることができた。	
		実績値	145	158					
		達成率	85.3%	92.9%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・大分県での専任教員養成講習会の開催の検討による質の高い看護師等養成所専任教員の確保 ・訪問看護師を含めた在宅医療を担う看護職の確保・定着、質の向上を推進				

事業名	在宅医療を支える看護職員確保定着事業		事業期間	平成 23 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	在宅医療に関わる看護師が不足しており、医療依存度が高い在宅療養者に対する適切な医療的ケアができる質の高い看護職員が十分に確保されていない。	事業の目的	在宅医療に従事する看護職員の確保と定着、質の向上を図る。
-------	---	-------	------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
訪問看護師養成事業	訪問看護師養成 (eラーニング受講者29人)	・県看護協会に委託して実施 (H23～)	総コスト	17,020	10,923	7,891
訪問看護ステーション等看護職員定着促進事業	訪問看護ステーションにアドバイザー派遣 (3事業所)	・専門家8人による事業推進会議を設置 (年5回開催)	事業費	15,020	7,752	5,891
診療所看護職員研修事業	診療所看護職員研修会 (12回開催、受講者延べ人数757人)	・県看護協会に委託して実施 (H23～)	(うち一般財源)			
看護の地域ネットワーク推進事業	各保健所単位に推進会議を組織し、医療機関や介護施設等と連携して看護職の確保・定着を促進	・保健所単位で事業推進し、当課が開催する看護サミットで県内の取組を共有	人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数 (人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
訪問看護師養成事業受講者数 (人)	目標値		30	30	30		<b>a</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問看護ステーションや介護施設における管理者の育成が不十分なため、各施設における教育体制や運営方針等の整備</li> <li>訪問看護師等の確保、定着、質の向上への取組が不十分であり、看護管理者の資質向上の取組を強化</li> </ul>	
	実績値		30	37					
	達成率		100.0%	123.3%					
診療所看護職員研修受講者延べ人数 (人)	目標値			600	600				
	実績値			757					
	達成率			126.2%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
訪問看護ステーション従事者数 (人) 【隔年の従事者調査：医療政策課調べ】	目標値		420	420	588		<b>a</b>	看護職員等従事者調査 (隔年、医療政策課) によると、訪問看護ステーション看護職員従事者数は年々増加している。	
	実績値		327	389					
	達成率		77.9%	92.6%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・県看護協会や県立看護科学大学、訪問看護ステーション連絡協議会等と連携し、在宅医療を担う看護職の質の向上や看看連携強化のための研修・会議等の充実を促進
- ・平成28年度から、「訪問看護ステーション等看護職員定着促進事業」については、県看護協会への補助事業として実施予定

事業名	おおいた医学生修学サポート事業		事業期間	平成 19 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	医師不足が顕在化している地域における医師の確保が求められている。	事業の目的	地域医療を担う医師を育成する。
-------	----------------------------------	-------	-----------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
大分県医師修学資金の貸与	大分大学医学部地域枠入学者に対する修学資金貸与（70名）	・貸与業務を円滑に進めるために入試や学生に関する情報を大学と共有	総コスト	90,268	96,386	108,723
			事業費	88,268	94,386	106,723
			(うち一般財源)	64,142	64,581	71,239
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数（人）	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 （年度）	評価	今後の課題	
								大分県医師修学資金貸与者（人）	目標値
実績値	61	70							
達成率	100.0%	100.0%							
目標値									
	実績値								
	達成率								

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 （年度）	評価	事業の成果	
								地域枠卒業医師数（人）	目標値
実績値	4	8							
達成率	100.0%	100.0%							

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・地域医療に対して意欲のある学生を確保し、将来地域医療に従事する医師を養成する必要があることから、引き続き事業を実施				



事業名	おおいた地域医療支援システム構築事業		事業期間	平成 20 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	地域住民が、子どもを安心して産み育てるにあたり、小児科・産婦人科の医師が不足していることが課題となっている。	事業の目的	地域における小児科・産婦人科の医師不足を解消する。
-------	--	-------	---------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
研修プログラムの研究開発・運用	大分大学と連携し、地域の病院で安心して研修を受けられる研修プログラムの研究開発・運用及び地域中核病院への小児科・産婦人科医師の派遣  対象病院等 ・小児科医：津久見市医師会立津久見中央病院（常勤医1名） ：国東市民病院（常勤医1名） ：大分県済生会日田病院（常勤医1名） ・産婦人科医：中津市民病院（常勤医3名）	・国立大学法人大分大学（医学部）に委託	総コスト	29,000	29,000	29,000
			事業費	27,000	27,000	27,000
			(うち一般財源)	10,125	10,125	10,125
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数 (人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	指導医による巡回指導回数 (回/月)	目標値	7	7	7		<b>a</b>	・県内の小児科・産婦人科の医師確保について、大分大学との長期的・広域的な視点に立った連携体制を構築	
		実績値	7	7					
		達成率	100.0%	100.0%					
		目標値							
		実績値							
		達成率							

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	派遣された後期研修医等 (人)	目標値	6	6	6		<b>a</b>	大分大学医学部と連携し、地域の中核病院に対して後期研修医等若手医師の派遣や大学の指導医による巡回指導を行い、指導記録等を蓄積することにより、地域密着型の研修プログラムの開発・運用を行い、安全で質が高く効率的な医療提供体制の充実を図ることができた。	
		実績値	6	6					
		達成率	100.0%	100.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・大分大学と連携し、小児科・産婦人科の医師確保のための指導体制の構築を推進				

事業名	地域医療教育・研修推進事業		事業期間	平成 22 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	本県の医師数は、人口10万人あたりで見ると全国水準を上回っているものの、地域的な偏在が大きく、地域医療を担える医師の育成・確保が求められている。	事業の目的	地域医療を担う医師を育成する。
-------	--	-------	-----------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
地域医療研究研修センターの設置	豊後大野市民病院を拠点とした地域医療に関する実地指導等を実施 委託先：国立大学法人大分大学（医学部）	・事業実施を国立大学法人大分大学（医学部）に委託	総コスト	46,686	46,686	47,648
地域医療支援センターの設置	県内の地域医療提供体制を把握・分析し、医師のキャリア形成や医師・医学生への情報発信・相談支援を実施 委託先：国立大学法人大分大学（医学部）		事業費	41,686	41,686	42,648
			(うち一般財源)			
			人件費	5,000	5,000	5,000
		職員数（人）	0.50	0.50	0.50	

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 （年度）	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	医師・医学生等に対する講習会・研修会の開催・参加回数（回）	目標値	6	6	6		<b>a</b>	・地域卒卒業医師のキャリア形成と地域医療提供体制構築の両立  ・相談支援事業については、件数を増加することが目的ではないため、予め27年度の目標値の設定は不適	
		実績値	6	6					
		達成率	100.0%	100.0%					
	医師・学生に対する相談支援数（人）	目標値	44	61					
		実績値	44	61					
		達成率	100.0%	100.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 （年度）	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	臨床研修を修了した地域卒卒業医師の県内医療機関への配置調整数（人）	目標値		2	4		<b>a</b>	大分大学医学部と連携し、地域医療研究研修センター及び地域医療支援センターを設置することで、医学生や研修医の段階からの地域医療現場での教育研修環境の整備を図るとともに、地域医療体制の分析や医師のキャリア形成支援等を実施することができた。	
		実績値		2					
		達成率		100.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・大分大学医学部と連携し、今後増えていく地域卒卒業医師のキャリア形成と地域貢献の両立を図り、県内定着を推進				

事業名	へき地医療対策事業		事業期間	昭和 36 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	医療を必要とする人がどこに住んでいても適切な医療サービスを受けられることが求められている。	事業の目的	へき地医療を確保する。
-------	---	-------	-------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
へき地医療支援機構運営事業 へき地医療拠点病院運営費補助 へき地診療所運営費補助 へき地患者輸送車運行事業費補助 医療施設等設備整備補助	へき地医療支援に係る調整、代診医等派遣調整 (99回) へき地医療拠点病院の巡回診療、代診医等派遣に対する助成 (14か所) へき地診療所の医療提供体制確保に対する助成 (2か所) へき地における患者輸送車運行に対する助成 (1か所) へき地診療所として必要な医療機器・患者輸送車の整備に対する助成 (2か所)	・効率的な調整を実施し、100%の調整率を確保  ・実施主体に対して実施要綱及び実施要領に沿った申請事務の管理を徹底	総コスト	54,066	47,898	107,938
			事業費	45,066	38,898	98,938
			(うち一般財源)	17,591	16,684	43,424
			人件費	9,000	9,000	9,000
			職員数 (人)	0.90	0.90	0.90

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	代診医等派遣要請対応率 (%)	目標値	100	100	100		<b>a</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>へき地における医療提供体制の維持</li> <li>へき地医療支援機構専任担当官の不在</li> </ul>	
		実績値	100	100					
		達成率	100.0%	100.0%					
	へき地拠点病院が確保されている医療圏域数	目標値	6	6	6				
		実績値	6	6					
		達成率	100.0%	100.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	へき地医療拠点病院による代診医等派遣、巡回診療の実施回数 (回)	目標値	488	379			<b>a</b>	へき地医療拠点病院が実施する巡回診療や代診医等派遣などにより無医地区等の住民の受療の機会が確保されるなど、地域の実情に応じたへき地医療が確保された。また、代診医派遣等の実施回数については、回数を増加することが目的ではないため、予め27年度の目標値を設定することにはなじまない。	
	実績値	488	377						
	達成率	100.0%	99.5%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

・へき地診療所への代診医等派遣調整や、へき地医療を支える医療施設の運営や設備整備に対する助成などによって、へき地における医療提供体制を維持

事業名	医療機関医師等支援事業		事業期間	平成 21 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>C</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	産科医等の地域偏在の解消や、女性医師の出産・育児等のワークライフバランスの確保を図るため、産科医等や勤務医の勤務環境の改善が課題となっている。	事業の目的	産科医、勤務医等の処遇改善を図る病院等の取組に対する支援を行うことにより産科医や勤務医等の確保・定着を図る。
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
産科医等確保支援事業	分娩手当の助成 (28施設)	・実施主体に対して実施要綱及び実施要領に沿った申請事務の管理を徹底	総コスト	52,105	37,076	39,503
短時間正規雇用支援事業	女性医師の出産・育児等と勤務との両立支援への助成 (1施設)		事業費	49,105	34,076	36,503
			(うち一般財源)	429		
			人件費	3,000	3,000	3,000
			職員数 (人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								分娩手当を支給する分娩取扱医療機関等 (数)	目標値
	実績値	29	31						
	達成率	74.4%	81.6%						
短時間正規雇用女性医師数 (人)	目標値	3	3	3					
	実績値	1	4						
	達成率	33.3%	133.3%						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								分娩手当を支給する分娩取扱医療機関等 (数)	目標値
	実績値	29	31						
	達成率	74.4%	81.6%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・全国的に分娩取扱医療機関等が減少している現状に鑑み、分娩手当の支給による処遇改善の支援を推進				

事業名	在宅医療連携拠点体制整備事業		事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度		政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
						施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>C</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	医療政策課		評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	できる限り住み慣れた家庭や地域で療養することができる社会の実現のために、在宅医療提供体制の整備が課題となっている。	事業の目的	地域の医師、訪問看護師、ケアマネジャーなどの多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指す。
-------	---	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
在宅医療連携拠点推進	多職種の在宅医療連携推進会議の開催や在宅医療を支える人材育成研修の実施など、在宅医療の提供体制構築のための取組を行う団体等に対する助成 (13件)	・25年度は県保健所が事業を行っていた南部地域について、26年度からは佐伯市に移管	総コスト	52,083	89,563	110,411
在宅医療地域診断ツール作成	地域における医療介護の課題を抽出するための「地域診断ツール」を作成		事業費	47,083	84,563	105,411
			(うち一般財源)			
			人件費	5,000	5,000	5,000
			職員数 (人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	今後の課題	
								在宅医療連携拠点体制整備事業実施圏域数	目標値
	実績値	6	6						
	達成率	100.0%	100.0%						
在宅医療の提供体制構築活動団体等に対する助成件数 (件)	目標値	12	13	17					
	実績値	12	13						
	達成率	100.0%	100.0%						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	事業の成果	
								在宅医療連携拠点体制整備補助事業実施市町村 (郡市医師会・病院実施の市町村含む) 数	目標値
	実績値	12	13						
	達成率	70.6%	76.5%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・27年度においても、県保健所が事業を実施している市について、事業の移管を推進</li> <li>・28年度からは、介護保険法上の地域支援事業として市が実施主体となることが位置付けられたため、市における事業実施への円滑な移行を推進</li> </ul>				

事業名	高度救命救急医療体制整備事業		事業期間	平成 24 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	より高度で専門的な医療を提供するため、特殊疾患患者や身体合併症のある精神疾患患者の受入体制の整備や、災害時における救命救急医療体制の確保が求められている。	事業の目的	高度救命救急センターの安定的な運営による救命救急医療体制の確保を図る。
-------	---	-------	-------------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
高度救命救急センター運営費補助	一刻を争う重篤な患者を受け入れる高度救命救急センターの運営に係る費用を補助	・実施主体に対して実施要綱及び実施要領に沿った申請事務の管理を徹底	総コスト	40,302	77,605	77,605
			事業費	37,302	74,605	74,605
			(うち一般財源)		37,303	37,302
			人件費	3,000	3,000	3,000
			職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	高度救命救急センター運営日数(日)	目標値		365	365	366		<b>a</b>
実績値			365	365				
達成率			100.0%	100.0%				
目標値								
	実績値							
	達成率							

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	特殊疾患患者等の受入人数(人)	目標値		224	127			<b>a</b>
実績値			224	127				
達成率			100.0%	100.0%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・より高度で専門的な医療を提供する体制の確保を引き続き推進				

事業名	広域救急搬送体制整備事業		事業期間	平成 18 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	過疎地域などの救急医療機関から遠く離れた救急患者が、適切な医療を受けられる体制づくりや、大規模災害時に迅速かつ適切な医療を提供できる体制づくりが求められている。	事業の目的	救急患者に対する広域救急搬送体制等を整備する。
-------	--	-------	-------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
防災ヘリ救急業務体制整備事業	救急処置用資器材等の整備	・福岡県、佐賀県との3県協定によりドクターヘリの共同運航を実施	総コスト	28,609	17,060	13,681
ドクターヘリ共同運航事業	福岡県ドクターヘリの運航回数に応じた経費の負担		事業費	26,609	15,060	11,681
大分DMAT活動推進事業	大分DMAT隊員の傷害保険、装備品の充実・更新		(うち一般財源)	7,232	9,305	8,705
大分DMAT研修事業	大分DMAT隊員となる医師等に対する養成研修の実施		人件費	2,000	2,000	2,000
災害医療従事者研修	災害時に医療機関等が円滑に活動するための研修の実施					
広域医療搬送訓練	政府主催の総合防災訓練として広域医療搬送訓練を実施		職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
活動指標	大分DMAT研修参加人数	目標値	70	70	70		<b>a</b>	・目標数値の維持	
		実績値	85	86					
		達成率	121.4%	122.9%					
	福岡県ドクターヘリ運航圏域市町村数	目標値	4	4	4				
		実績値	4	4					
		達成率	100.0%	100.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
成果指標	大分DMAT隊員数	目標値	300	300	300		<b>a</b>	災害・救急現場での医師による速やかな救命措置が行える体制と、高次の医療機関へ迅速に収容する広域救急搬送体制の整備が図られた。	
		実績値	317	382					
		達成率	105.7%	127.3%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

・引き続き、大分県ドクターヘリの運航と併せ、大規模災害も想定した広域救急医療体制の強化を推進

事業名	ドクターヘリ運航事業		事業期間	平成 23 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	年々増加する救急需要への対応やへき地への救急医療の提供のため継続的な広域救急医療体制整備が求められている。	事業の目的	緊急を要する患者の症状を安定化した後にドクターヘリで搬送し、救急患者の後遺症軽減及び救命率の向上を図る。
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
ドクターヘリ運航調整委員会	運航要領や要請基準等について関係機関との調整を実施(1回実施)	・ドクターヘリの安定的かつ効果的な運用について基地病院、ヘリ運航会社、消防機関等と協議	総コスト	216,903	211,650	404,790
ドクターヘリ運航経費補助	ドクターヘリ運航に必要な経費の補助		事業費	213,903	208,650	401,790
			(うち一般財源)			
			人件費	3,000	3,000	3,000
		職員数(人)	0.30	0.30	0.30	

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	実績値	556	610					
	達成率	100.0%	100.0%					
	目標値							
		実績値						
		達成率						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	実績値	457	483					
	達成率	100.0%	100.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

・ドクターヘリの基地病院である大分大学医学部附属病院にヘリの格納庫を整備し、広域的な救急医療体制の強化を推進



事業名	県立病院対策事業（県立病院）		事業期間	昭和 5 4 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	医療政策課	評価者	医療政策課長 高窪 修

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	県民医療の基幹病院として高度・専門医療、急性期医療等の診療機能を強化し、併せて政策医療等への取組をさらに進めることが求められている。	事業の目的	県民に対して高度・専門医療、急性期医療等を提供する。
-------	--	-------	----------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	2 5 年度	2 6 年度	2 7 (予算)
県立病院負担金	県の保健衛生事務や、がん診療、救急医療などの高度・専門医療、急性期医療等に必要経費について、地方公営企業法に基づき、病院事業会計に対して一般会計から負担金を交付	・感染症・災害・認知症疾患などといった行政が担うべき政策医療とそれ以外の一般医療との負担区分を明確にし、政策医療への適切な負担を確保するとともに総額を抑制	総コスト	1,366,545	1,381,076	1,351,714
			事業費	1,366,045	1,380,576	1,351,214
			(うち一般財源)	1,366,045	1,380,576	1,343,714
			人件費	500	500	500
			職員数 (人)	0.05	0.05	0.05

活動指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題
	紹介率 (%) (他の医療機関からの紹介患者数 / 初診患者数)	目標値	60.0	60.0	65.0		<b>a</b>	・地域の医療機関との連携を図り、平成21年4月に受けた地域医療支援病院の承認を維持
	実績値	63.3	63.3					
	達成率	105.5%	105.5%					
逆紹介率 (%) (他の医療機関へ紹介した患者数 / 初診患者数)	目標値	70.0	70.0	75.0				
	実績値	68.2	85.7					
	達成率	97.4%	122.4%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
	1日あたりの患者数 (人)	目標値	1,287	1,263	1,228		<b>a</b>	県立病院は県民医療の基幹病院として、民間が取り組むことが難しい救急医療や周産期医療等、高度・専門医療、急性期医療等を担っており、そのような政策医療を県民に継続的に提供することができた。
	実績値	1,259	1,235					
	達成率	97.8%	97.8%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・周産期、小児、がんなどの高度・専門医療や救急、感染症、災害対策などの政策医療等の医療機能の充実
- ・診療報酬の動向を踏まえた収益の確保及び計画的な人材確保と育成
- ・地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携強化

事業名	障がい児者歯科診療体制整備事業		事業期間	平成 26 年度～平成 28 年度		政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
						施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	健康対策課		評価者	健康対策課長 藤内 修二

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	一部の障がい児者は、歯科診療の際に適応行動がとれず、むし歯や歯周病が放置されていることが多い。また、治療を受けようとしてもどこで治療を受けてよいかわからない状況にある。	事業の目的	障がい児者の口腔内状況を把握し、歯科医師及び歯科衛生士の障がい児者歯科に対する治療の質の向上を図るとともに、障がい児者施設職員に対する口腔ケア指導等により障がい児者のむし歯予防を推進する。
-------	--	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
障がい児者口腔状況把握（健診・指導）	県内の障がい児者施設において、歯科医師、歯科衛生士が歯科健診・歯科保健指導を実施 委託先：（一社）大分県歯科医師会	・大分県歯科医師会に委託して、事業実施 ・健診・指導を行う上での問題点等の抽出	総コスト		7,281	10,914
障がい児者歯科診療状況実態調査	歯科診療所等における、障がい児者の受入れの可否等の施設設備環境等に係る調査を実施し、公表 委託先：（一社）大分県歯科医師会	・大分県歯科医師会に委託して、事業実施	事業費		3,281	6,914
障がい児者歯科研修会開催	歯科医師、歯科衛生士等を対象とした研修会の開催（1回）	・大分県歯科医師会に委託して、事業実施	（うち一般財源）		1,653	1,948
			人件費		4,000	4,000
			職員数（人）		0.40	0.40

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (28年度)	評価	今後の課題
	障がい児者施設口腔内健診者数 (人)	目標値		800	1,600	2,400		
	実績値		731					
	達成率		91.4%					
障がい児者歯科研修事業参加者数 (人)	目標値		200	400	600			
	実績値		172					
	達成率		86.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (28年度)	評価	事業の成果
	対応困難な障がい者を取り扱う高次の歯科治療機関数	目標値		1	1	2		
	実績値		1					
	達成率		100.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・障がい児者のむし歯、歯周病予防の取組として、障がい児者施設における歯科健診を継続
- ・健診施設数の増加
- ・治療、予防処置を行う者の技術向上のための研修会についても継続
- ・障がい者歯科治療における高次医療機関の設置に向けても検討

事業名	精神科救急医療システム整備事業		事業期間	平成 17 年度～平成 年度	政策区分	医療の充実と健康づくりの推進
					施策区分	安心で質の高い医療サービスの充実
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	障害福祉課	評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	夜間・休日の緊急の精神科医療ニーズに迅速かつ適切に対応できる精神科救急医療・相談体制が整っていない。	事業の目的	精神科救急電話相談センターの運営や身体合併症患者を含む精神科救急医療体制を確保する。
-------	--	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
精神科救急電話相談センター事業	電話相談への対応 (平日17時～21時、休日9時～21時) 委託先：大分県精神科病院協会	・精神科救急電話センター事業、精神科救急医療体制確保事業を大分県精神科病院協会に委託	総コスト	43,224	42,940	44,437
精神科救急医療体制確保事業	当番病院体制の整備 (休日夜間2病院) 委託先：大分県精神科病院協会	・身体合併症救急対応体制整備事業を大分大学医学部に委託	事業費	41,224	40,940	42,437
身体合併症救急対応体制整備事業	救急身体合併症患者の受入れ・入院治療体制の整備 委託先：大分大学医学部		(うち一般財源)	9,537	9,877	10,199
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数 (人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	精神科救急電話相談センター開所日数 (日)	目標値	365	365	366		<b>a</b>	・夜間、休日における同日複数案件の搬送や入院等に対する迅速な対応が可能な体制の確保	
		実績値	364	360					
		達成率	99.7%	98.6%					
	当番病院体制整備日数 (日)	目標値	365	365	366				
		実績値	365	365					
		達成率	100.0%	100.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	当番病院体制利用件数 (措置入院件数)	目標値	58	60	62		<b>a</b>		すべての案件について対応できている。一方で、夜間・休日の精神科救急医療・相談体制の確保については、本事業で確保できるもの以上に精神科医療ニーズが大きくなってきている。
		実績値	68	59					
		達成率	117.2%	98.3%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・夜間、休日の精神科救急ニーズは高いため、継続して事業実施				